

【第2弾情報】

「料理の腕を上げるのは、魔法使いになる近道かもしれません」(宮崎吾朗監督)  
スタジオジブリの作品から生まれた初の「りょうり絵本」

『子どもりょうり絵本 ジブリの食卓 アーヤと魔女』

映画『アーヤと魔女』の作品世界から生まれたリアル“ジブリめし”ビジュアルを公開  
宮崎吾朗監督コメントも公開



株式会社主婦の友社は、4月24日(土)、スタジオジブリ初のフル3DCG作品として注目の映画『アーヤと魔女』(企画:宮崎駿、監督:宮崎吾朗、近日公開 全国ロードショー)に登場する食べ物や、作品の世界から着想を得て考案した料理を、簡単でわかりやすいレシピで紹介した『子どもりょうり絵本 ジブリの食卓 アーヤと魔女』を発売いたします。

発売第2弾情報として、本書に掲載している映画『アーヤと魔女』の作品世界から生まれた“ジブリめし”ビジュアルや、宮崎吾朗監督コメントを公開いたします。

◀アーヤと魔女ベラ・ヤガと黒猫のトーマスがキッチンでポーズをとる表紙絵は、宮崎吾朗監督がこの本のために特別に描き下ろした一枚です

イギリスの名物料理や、物語からイメージしたお菓子など、映画『アーヤと魔女』に出てくる食べ物を親子で楽しみながら作れる

「聖モーワード子どもの家」のシェパーズパイ

シェパーズパイは、イギリスを代表する料理のひとつ。アーヤが魔女の家に来るまえに暮らしていた「聖モーワード子どもの家」のコックさんはシェパーズパイが得意で、アーヤはこれが好物でした。コックさんが作るシェパーズパイには、お肉の他ににんじんやグリーンピースなど、ソースからゴロゴロとあふれるほどの具が特徴。本書のレシピで作るシェパーズパイも、牛ひき肉に玉ねぎ、赤と黄のパプリカをたっぷり使い、旨みがギュギュッと詰まっています。



【映画の世界から】「おじさんのパイは、世界でいちばんおいしくて、すてきなおいがするんだもん！」アーヤは「子どもの家」のコックさんが作るシェパーズパイが好物。

マッシュポテトの下には、肉の旨みと野菜がたっぷり入ったミートソース。オーブンでこんがり焼いたらでき上がり！

## 「ボーイスカウトが作ったまともなあげやきパン」

あげやきパンは、イギリスでよく食べられる朝食メニュー。ベーコンやウィンナーを焼いたときに出た油で、うす切りのトーストをあげやきにしたもの。アーヤがあげやきパン作りに失敗し、怒ったマンドレークが取ってこさせた「ボーイスカウトが作ったまともなあげやきパン」は、厚切りパンで作るフレンチトースト風。

紹介するレシピでは、卵と牛乳、砂糖をたっぷりしみこませたパンをバターで焼いて、中までふわとろに仕上がります。



本書のレシピで作るあげやきパンは、ふんわりとろろの食感。幸せな朝ごはんになります。

### 【映画の世界から】

気難しいマンドレークもごきげんになるのが「ボーイスカウトが作ったまともなあげやきパン」。

## ぐねぐねミミズのプレッツェル

アーヤが作った呪文の力で、おでことおしりに小さな手をつけられてしまったベラ・ヤーガは、カンカンに怒って魔法でアーヤを部屋に閉じ込めミミズの罰を与えました。天井から青とむらさき色のミミズがぼとぼと落ちてきて・・・。

このシーンから着想を得て、ぐねぐねとからみ合うミミズを焼き菓子のプレッツェルで表現しました。ホットケーキミックスを使うので、生地作りは簡単！食用色素で色づけしたホワイトチョコレートでしましまにしばって模様をつければ完成！



(左ページ) 【映画の世界から】ベラ・ヤーガによって、大量のミミズが落ちてくるも、「あらゆる魔法から身を守るじゅもん」をぬっているアーヤたちには、ミミズも手出しができません。アーヤは壁に開けた穴にミミズを隠そうとしますが、すると・・・。

(右ページ) カラフルなプレッツェルになったミミズなら、毎日でも食べたくなります。

### 【その他に掲載しているレシピ】

- いたずらシーツのマシュマロおばけ
- ベラ・ヤーガのじゅもんグミ
- シルバー・ハインズのフィッシュアンドチップス
- アーヤとトーマスの魔法ジェルドリンク
- アフタヌーンティーのカラフルカップケーキ
- 黒ネコトーマスのさくさくクッキー
- 魔女の家のクリスマスディナー(クリスマスプディング、クラムチャウダー、クラッカーのリースサンド)

## 宮崎吾朗監督からみなさんへ

料理って楽しいですよね？僕は料理をするのが好きです。色々な材料をむいたり、きざんだり、つぶしたり、混ぜあわせたり。手と道具を使うのは楽しいです。茹でたり、蒸したり、煮たり、焼いたり。火を使うのはもっと楽しいです。いつでも上手に作れるわけではないですが、それでも作っている間は余計なことを忘れることができるし、できあがったものを食べて、「美味しいね！」って言ってもらえたときはとても嬉しい気持ちになります。美味しい料理には魔法のような力があります。

そういえば、ベラ・ヤーガの家でアーヤが教わる魔法の呪文づくりは、料理を作るのとよく似ていますね。きざんだり、つぶしたり、混ぜたり。きっと腕のよい魔女は、料理の腕もよいに違いありません。

この本を読んで、料理をしてみたいな！と初めて思った人は、どんどん挑戦してみてください。料理の腕を上げるのは、魔法使いになる近道かもしれませんよ。

宮崎吾朗

## 書誌情報



スタジオジブリの作品には「わあ、おいしいそう！一度食べてみたい！」と思う食べ物がたくさん登場します。「ジブリめし」と称して作品中の食べ物を再現して楽しむ人が後をたないほど、ジブリ作品における「食」は魅力にあふれています。本書は、ジブリの作品から生まれた初めての料理レシピ本であり、『アーヤと魔女』に出てくる食べ物の再現レシピに加え、作品世界からイメージしたお菓子など、この本ならではのオリジナルレシピをご紹介します。3DCGのアニメ画像を豊富に使い、まるで『アーヤと魔女』の世界に遊びに来たようなワクワクを感じながら、親子で作って、食べて、楽しめる「子どもりょうり絵本」となっています。

さらに、キッチンで微笑むアーヤと不敵な笑みを浮かべた魔女ベラ・ヤーガの表紙絵は、宮崎吾朗監督がこの本のために特別に描き下ろした一枚です。ぜひこちらにもご注目ください。

タイトル: 子どもりょうり絵本 ジブリの食卓 アーヤと魔女  
監修●スタジオジブリ 料理●祐成二葉 定価●1,540円(10%税込) サイズ、ページ数●B5変、64ページ  
発売日●2021年4月28日(水) ISBN●978-4-07-447439-4

## 映画『アーヤと魔女』について



「子どもの家」で育った10歳の少女・アーヤは、なんでも思い通りに、何不自由なく暮らしていた。そんなアーヤの前にあらわれたのは、ベラ・ヤーガと名乗るド派手な女と、マンドレックという長身男の怪しげな二人組。アーヤは、彼らの家に引き取られることになる。「わたしは魔女だよ。あんたをつれてきたのは、手伝いが欲しかったからだ」「おばさんが私に魔法を教えるのなら、おばさんの助手になってあげる」魔法を教えてもらうことを条件に、ベラ・ヤーガの助手として働き始めるアーヤ。でも、こき使われるばかりで、ひとつも魔法を教えてもらえない。生まれてはじめて自分の思い通りにならないことを悟ったアーヤは、魔法の秘密を知る使い魔の黒猫・トーマスの力を借り、反撃を始める……！

近日公開 全国ロードショー

寺島しのぶ 豊川悦司 濱田岳 平澤宏々路

企画: 宮崎駿 監督: 宮崎吾朗

音楽: 武部聡志 主題歌: シェリナ・ムナフ

スタジオジブリ作品 配給: 東宝

©2020 NHK, NEP, Studio Ghibli